

小児科



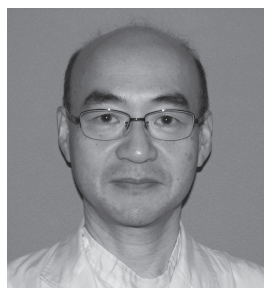
診療科長
浅井 康一

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
日本アレルギー学会
専門医・指導医
日本小児アレルギー学会
代議員
日本小児感染症学会
代議員
Infection Control Doctor
(ICT)
京都大学医学博士
京都大学医学部
臨床教授
京都小児科医会理事
専門分野
小児アレルギー
小児感染症
得意疾患
食物アレルギー
喘息・アトピー



NICU診療科長
松倉 崇

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医・指導医
新生児蘇生法「専門」
コースインストラクター
専門分野
新生児



GCU診療科長
黒須 英雄
令和2年3月31日まで

専門医資格等
日本小児科学会
小児科専門医
新生児蘇生法「専門」
コースインストラクター
国際ラクテーションコン
サルタント (IBCIC)
専門分野
新生児
得意疾患
新生児
母乳育児

□ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	石塚 哲也		小児全般	小児感染症
医師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	小児全般	虐待・遺伝性疾患
医師	仁井 純子	日本小児科学会専門医	小児全般	
医師	橋本 友紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会 遺伝専門医	小児内分泌代謝	低身長・甲状腺遺 伝性疾患
医師	山本 茜	日本小児科学会専門医	新生児	
非常勤医師	秋山 佑一	日本小児科学会専門医	血液・腫瘍	心身症

□ 診療科の特徴

施設認定等	京都大学小児科専門研修プログラム連携施設 周産期(新生児)専門医指定研修施設 日本アレルギー学会専門医教育研修施設
-------	---

- 1.お子さんの、心とからだの発達を重視します。
- 2.スタッフ全員が、新生児から思春期までの小児の診療がおこなえるよう研鑽しています。
- 3.新生児期から小児期に外科的治療が必要な例には専門施設と円滑に連携をとっています。
(京都大学病院・京都府立医科大学病院等)
- 4.病気の治療にとどまらず、予防接種による感染症の予防にも力をいれています。
- 5.長期入院が必要な小・中学生は、学習が継続できるよう院内学級(京都市立桃陽総合支援学校)が利用できます。
- 6.京都市から委託をうけ院内病児保育を実施し、子供さんが体調不良で登園・登校できない時にも、ご家族の方が仕事を休まずにすむようサポートしています。

□ 主な対象疾患

新生児・低出生体重児(極低出生体重児1500g未満・超低出生体重児1000g未満)・新生児黄疸・糖尿病や甲状腺疾患母体からの出生児・新生児薬物離脱症候群

食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎

低身長・甲状腺機能異常・糖尿病・肥満・先天代謝異常・遺伝相談

先天性心疾患・川崎病

てんかん・発達障害・自閉症・心身症・不登校など

□ 診療(業務)内容

- 1.平成12年から新生児集中治療室(NICU6床)、平成23年から新生児治療回復室(GCU6床)を開設し、産婦人科と密接に協力し24時間体制で赤ちゃんの診療を行っています。
- 2.小児病棟(2-3病棟)では、肺炎・胃腸炎・脱水症・熱性痙攣など小児一般急性疾患の入院治療をしており、病棟保育士も常駐しています。
- 3.外来診療は、一般外来の他、専門外来(アレルギー・内分泌・神経・心臓、NICUフォローアップ)や予防接種・健診があり、食物アレルギーでの食物経口負荷試験、内分泌疾患での負荷試験や学校検診(心電図・検尿)異常の精査をしています。

外来初診の場合、可能であればかかりつけの先生からの紹介状をご持参ください。

□ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.1名	379名	10.8日

外来患者数

1日平均患者数
25.2名

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	黒須 英雄, 阿水利 沙, 仁井 純子, 山本 茜, 橋本 有紀子, 北 誠, 石塚 哲也, 松倉 崇, 浅井 康一	RET遺伝子異常によると思 われるHirschsprung病の一 例	第12回京都 NICU懇話会	京都	2019.6.22	2019.6.22
国内学会	黒須 英雄	母乳栄養確立を困難にする 要因と出産後24時間までの 授乳回数との関係	第54回日本母乳 哺育学会	岡山	2019.9.15	2019.9.14- 2019.9.15
国内学会	浅井 康一	最近までに経験した化膿性 関節炎等について	伏見小児科研究 会2019	京都	2019.9.28	2019.9.28
国内学会	浅井 康一	川崎病との鑑別を要した、急 性汎発性発疹性膿疱症の1 例	第51回日本小児 感染症学会総 会・学術集会	旭川	2019.10.27	2019.10.26- 2019.10.27

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
和文原著論文	和田 美智子, 林子耕, 小林彩, 橋本 有紀子, 浅原(佐藤) 哲子, 加藤 剛志, 三宅 秀彦	エーラスダンロス症候群が疑われたが術前評価により手術可能と判断し全腹腔鏡下子宮全摘術を施行した一例	日本産婦人科内視鏡学会誌	35	2	290-293			2019.9
和文原著論文	河田 興, 黒須 英雄, 阿水 利沙, 喜田 孝史, 高倉 賢人, 沼本 和記	出産後に無乳汁分泌だったAripiprazole内服母体から出生した新生児Aripiprazole血中濃度の検討	日本小児臨床薬理学会誌	31	1	31-33			2020.1